

令和8年度（2026年度）教育警察常任委員会管内視察の概要

- 1 視察日 令和8年（2026年）7月27日（月）
- 2 視察者 教育警察常任委員会（6名）
西山宗孝（委員長）、杉蔦ミカ（副委員長）、湊上陽一、
橋口海平、岩田智子、本田雄三

3 視察の概要

（1）熊本県警察学校

熊本県警察学校は、警察官として必要な知識や技能、規律及び職業倫理を修得させるための教育訓練機関であり、地域社会の安全と安心を担う人材の育成を行っている。

今回の視察では、同校における教育訓練の概要について説明を受けるとともに、授業や各種訓練の実施状況を見学した。

同校から、警察学校の沿革や役割について説明があり、警察学校が本県警察を担う人材育成の中核施設として、新任警察官をはじめ、専門分野ごとの教育訓練を実施していることなどが紹介された。

警務課から、警察官採用を取り巻く現状や課題、高校・大学等への広報活動、各種説明会の開催、SNSを活用した情報発信など、人材確保に向けた取組について説明があり、実際にInstagramに投稿している動画の視聴をし、具体的な広報手法を確認した。



（2）熊本県立矢部高等学校

矢部高等学校は、地域に根差した教育活動を展開しており、地域資源を活用した実践的な学習や地域課題の解決に取り組む教育活動を推進している。

今回の視察では、同校における特色ある教育活動の成果について説明を受けるとともに、生徒による探究活動のプロジェクト発表を視察し、校内施設の見学を行った。

食農科学科から、野菜の苗の販売会や、無農薬で栽培したいちごを企業に提供してアイスやドーナツなどの商品化につなげたり、県内の大学の学食へ提供したりしているとの説明があった。

また、林業科学科からは、木材を活用した福祉用具として「認知症予防パズル」を開発し、健康寿命の延伸や社会的孤立の解消に取り組んでいるとの説明があった。

さらに、生徒からは、どんぐりから始まる苗木生産の研究や森林資源の循環利用に向けた取組のプロジェクトの発表があった。

なお、この森林資源に関する取組は、令和7年度全国がんばる林業高校生表彰において林野庁長官賞を受賞している。



(3) 高森町立高森東学園義務教育学校

高森東学園は、平成29年4月に高森東小学校と高森東中学校を統合して開校した、熊本県初の義務教育学校であり、9年間を見通した系統的な教育活動を実施している。中一ギャップの和らげるためブロック制（4年、3年、2年）という独自の区切りを導入しており児童生徒の発達段階に応じたきめ細かな指導を行っている。

今回の視察では、同校における小中一貫教育の取組や特色ある教育活動について説明を受けるとともに、校内施設の見学を行った。

同校から、地域資源を活用した「高森ふるさと学」を中心に、地域への愛着と誇りを育む教育活動に力を入れていることや異学年交流の一環として合同授業を行い、上級生の姿を通して、自ら課題を設定し、解決する力を育てているとの説明があった。

